

# 理解の輪さらに広がる「変形労働時間制」



# 宗谷の「先生」をつなぐ月刊誌 Soya

学校づくりと人事の取り組みを豊かに！

理解の輪さらに広がる「変形時間労働制」

授業づくりの玉手箱⑥「好奇心を刺激する廊下展示」

私のおすすめ「焼肉ジャンボ」

私の職場を紹介します！

2020 November vol.6

宗谷管内の魅力いっぱいの情報誌  
毎月無料で机上にお届け！

Photo:稚内・ノシャップ伊

宗谷の「先生」をつなぐ月刊誌「soya」2020.11

## 私の職場を紹介します！

鬼志別小学校／氏家 あすか

鬼小分会は今年度、分会員3名です。ここ数年は異動に伴い組合員が減少傾向です。これはたぶんどこも同じ悩みではないでしょうか。それでも、常日頃、若手に組合加入を呼びかけています。もしかすると、今の職員室が「働きやすい・話しやすい」雰囲気なので、組合の必要性をそれほど感じないかもしれませんね。

職員は50代から20代までそろったバランスの良い年齢構成です。ペテランがアドバイスをしたり、若手がアイデアを出したりといった様子が日常的に見られます。普段からのコミュニケーションがスムーズに行われています。

現在の管理職の先生は宗谷で育った先生方です。ですから宗谷の厳しい自然環境、生活環境、社会環境を知り、その中で学校づくりを民主的に進めています。同僚性を大切にした学校づくりは、「組合」に重なる部分が大きいですね。組合活動に対する理解もあり交渉・面談などは大変スムーズに行うことができます。

この働きやすい職場環境を保ち発展させるためにも、今後の組合員の加入促進が一番の課題と言えるでしょう。

働く者として「声をあげること・声をかけること」を大切にして残り半分未満の今年度を過ごしていく予定です。



十一・十二月道議会にお  
道教委の動き

月刊誌soya八月号でお伝えした「公立学校に一年単位の変形労働時間制導入するための条例制定に反対する請願」の意見書が稚内市、猿払村で続いて札文町、豊富町でも採択されました。語り合いで理解の輪がさらに広がっています。

かの議論がされる予定ですが、「これに先立ち、道教委は九月九日、札幌市を除く市町村教育委員会に對し、導入にかかる意

令和3年度から活用…38%(67市町村)  
令和4年度以降活用…43%(76市町村)  
活用する予定はない…3%(6市町村)  
その他…16%(29市町村)  
(2020/10/19全北海道教職員組合「止めよう!変形労働制」ニュース第76)

いて条例化するかしないかの議論がされる予定ですが、「これに先立ち、道教委は九月九日、札幌市を除く市町村教育委員会に對し、導入にかかる意

全道の教職員の思いは…  
道教委は全北海道教員組合(道教組)と北海道高等学校教職員組合(道高教組)との交渉の中で「8割の市町村が導入を検討している」として条例化しようとしています。しかし道教委が行った調査は、あくまでも市町村教育委員会の意向であり、

が最も多くなっています。

教職員の意見は…

アンケートでの宗谷の教職員の意見を抽出する

と、活用したい(3%)、活

用したくない(76%)、ど

ちらともいえない(21%)

でした。宗谷の教職員は

全道の教職員と比べると

活用したくない割合が高

い結果となりました。ま

た注目すべきは宗谷・全

道ともに「どちらともいえ

ない」の割合が大きいこと

です。道教委は二〇二〇

年十月に公立学校の教職

員における一年単位の変

形労働時間制についてと

いうA4表裏のリーフレ

ットを作成していますが、

私たちの疑問や不安に全

て内容にはなっていません。

1年単位の変形労働

## 編集後記

11月号の発行がすっかり遅れてしまい、申し訳ありません。

2020年度も後半に入り、今年度の学校づくりの総括や来年度のことなど、職場や分会で話し合う機会もあるのではないかでしょう。女性部の集まりでは「チメも磨けば要求に」を合言葉に、おしゃべりから課題を見出し運動していくことがあります(教員住宅問題や異動時の子育て環境調べなど)。例年と違う年だからこそ、分会会議や炉辺談話でゲチをこぼしながらも、組合運動のきっかけにできるのではないか。

宗谷の「先生」をつなぐ  
月刊誌「soya」2020.11

発行日 2020.11.27  
発行人 宗谷教職員組合  
発行人 古川 正史  
〒097-0004 稚内市篠路丁目4-21 宗谷教育会館  
TEL 0162-22-2480 メール info@soya-teachers.org

## 私のおすすめ 焼肉ジャンボ

中頓別町中頓別18

最近、私はいろいろな場所で食事をすることにハマっています！！なかなか仕事が忙がしく行けていないですが、何かの行事が終わったりときやおいしいご飯を食べたくなったときに中頓別町の「ジャンボ」という焼き肉屋さんに行きます。ちなみに私のおすすめはビンバ丼です！そのまま食べるもし、焼き肉と一緒に食べるもしで最高です！町民なら誰もが愛用する焼き肉屋さんです。温泉に入りに来られた方や中頓別に遊びに来た際にご案内します！ぜひ中頓別中学校 川田 勲也



時間制を導入することで一番影響があるのは教育委員会ではなく教職員一人ひとりです。また道教委の意向調査には「所管の学校の意見も伺いながら…回答願います」とあるものの、宗谷管内では学校に調査が下りてきていたことは確認できません。導入を検討する

のであれば、教職員に対して説明を丁寧にする必要があります。簡単なりにフレットで「説明した」として条例化にかかるる議論を道議会で進める」とは看過できません。

# 豊かな学校づくりと人事の取り組みを!

人事異動要領が発出され、二〇二二年度当初人事の取り組みがスタートしてしまいます。各学校では校長先生から来年度の学校経営の方針も示され、私たち一人ひとりが意識して「学校づくりを重視する」「一人ひとりの異動希望に寄り添う」という視点を持って、学校づくりと人事の取り組みを進めましょう。

## うちの学校は居心地がいい

このように思われていいことが多いのではないかと思う。今年は新型コロナの影響もあり、いつもと違うという落ち着かない状況の中でのスタートでした。「子どもたちのため」という共通の思いのもと、今も奮闘され続けています。今、子どもたちの表情はどうでしょうか?臨休明けはちょっと暗い顔も多かったかもしれません。今では笑顔が多くなってきているのではなくでしょうか?子どもは教師の鏡であるという言葉があります。子ども

たちの笑顔は教職員の奮闘があつてこそです。居心地のいい、温かい学校だと教職員が感じているようになります。子どもたちも同じように感じているのではないでしょうか。

…こんな経験のある方は多いでしょう。困っている時に自然と力合わせでできる。だから温かいと感じるのではないでしよう。

宗谷の教育を受け継ぐ

温かな学校はいつどんよろしくしてできたのでしょうか。宗谷の教職員をはじめとする教育関係者は「力合わせ」という言葉をよく使います。プリントなど教材の準備をしていたら、周りの先生が助けてくれる。学級レクがあれば、保護者の方々が率先して動いてくれる

温かな学校は、これからも書物を読むと、今から五十年以上前にも教育にかかわること。子どもが生活にかかわることで、力合わせの歴史が長

いことを感じます。今の

温かな学校も誰かが頑張れば維持されるものではあります。みんなで行動していくことで、この

温かな学校は続いていると言えます。豊かな学校

づくりにはみんなが力を發揮していくことが不可欠なのです。

「学校づくり上の課題」と「私たちの暮らしの問題を考慮して、具申・内申を基本に進める。

人事を進めるにあたり、異動調書を作成します。自分自身の状況を踏まえ、希望を記入します。

未だが見える人はいません。異動したい。しなければならない方にとって、新しい学校はどんなところなのか、どれだけ経験を積んでいても、不安を感じない方はいないでしょう。また異動せずに残る方にとって、「あの先生がいないなくて大丈夫だらうか?」と心配になることがあります。忙しい毎日が続きますが、心配なことがあればすぐに相談し合いましょう。隣の先生の様子に気をかけましょう。忙しそうだから…と気を使つ必要はありません。全ては目の前の子どもたちにかかることがあります。みんなで語り合いましょう!

理解と納得を得るために、人事異動のルールである人事異動要領には次のように書かれています。

「学校づくりを語り合おう」人事異動のルールである人事異動要領には次のように書かれています。

私たちは子どものために頑張りたいという思いで教職員になっています。子どもたちをおさなりにした人事異動は防がなければなりません。つまり、異動対象・希望の有無に関する人事異動要領には次のように書かれています。

私たちには、この声の掛け合い

## 授業づくりの玉手箱 好奇心を刺激する廊下展示活動

子ども達は好奇心旺盛で何でもどんどん吸収していきます。私は学校事務職ですが、一方で保護者であり、地域に住む大人であると常に考え子ども達に接しています。そして、すべての子にとって学校が心地良い場所であり、より多くの刺激を受けられる場所になるよう先生方と連携しながら取り組んでいます。

子ども達が望む「憩いの場」とは何か?いつも子どもの様子や声を見聴きしてました。その中から、ふと子ども達が抱く「これは何虫?石?花?」「どうして?」「初めて見た!」「きれいだな!」や「私にもできる?」に答えられるよう取り組んだのが廊下展示活動の始まりです。これまでの次の様な取組をしました。

- ・生きたシマエナガ・シマヘビ・クスサン・ニホンザリガニの展示
- ・マダニ・ズメバチ・ツタウルシ等の危険動植物の標本展示
- ・学校敷地内樹木の整備と周辺のキノコ観察会の実施
- ・岩石・化石標本や星座・彗星・日食写真・太陽系模型の展示
- ・理科や社会の教具を展示、科学や北海道の動植物の本を展示
- ・読むだけでなく憩いの場としての図書室や図書コーナーの整備
- ・ルーピックキューブを初め各種知育パズルを常備
- ・障がいや人権・LGBTs関係の本を展示
- ・廊下に複製絵画の展示や芸術関連本を展示

そっと寄り添い、語りかければ、子ども達はいろんなお話をしてくれます。子ども達のためにこれからも憩いの場つくりを続けます。



## 宗谷の空 不安を語り合い 組織強化・拡大へつなげよう

早いもので2学期ものごとく1か月。いつも違う年の瀬を迎えますね。コロナ感染拡大の波が止まらない中、日々の教育活動にも気を遣う日々が続いています。こんなときこそ、職場の仲間が集まる分会会議を開いてみませんか?

本当ならば美味しいごはんを囲んで…といいたいところですが、今はそういうもいかせん。お菓子や飲み物を用意して勤務終了後にちょっと集まってみてはどうでしょう。日ごろ、職員室では語れないような本音や、コロナ禍だからこそ喜怒哀楽を語り合うことで、気持ちちはふと楽になるかもしれませんね。



## 知れば知るほど得をする! 全教共済 教職員のための... 秋募集期間です!!

10月号で年末調整と全教共済の掛け金の安さについてお話ししました。実は、この年末調整に大きくかかわる生命共済・医療共済・傷害共済・医療共済終身タイプ・年金共済の締め切りが11月30日と迫っています。「え?いつでも入れるんじゃないの??」と思われるでしょう。実は、共済会の人員などの関係で申し込み期間が限定されているのです。これはどうしようもない部分なのです…。

「今入っている保険で今年の年末調整は満額控除にしたい」と思われているあなた!生命・医療・傷害は申し込みの翌々月から保証・引き取りが始まります。つまり1月です。ということは、今支払っている保険は12

月まで支払い、1月から解約してもらえば今年の年末控除で控除でき、来年からはお得になるという、今が一番のチャンスなのです!また年金共済も1月から引き去りとなります。月3000円から始められ、ボーナス払い(10000円単位)との併用もできます。以前ある事務官は「年末調整の紙で、個人年金のところに記入していない先生って多いんだよね」と言っていました。ぜひお得になりませんか?相談は今すぐLINE・メールでどうぞ!24時間いつでも書き込んでください!あまり夜遅くなれば、電話での相談も可能です。

